

こんにちは
いつもお世話になっております

三栄です

第13号

発行元

株式会社三栄サービス

東村山市久米川町1-16-5



◇がんばろう東北！

石巻・女川を視察

去る七月一日、再生資源業界の青年部の東北大会が盛岡で開催され、東京の青年部長として参加してまいりました。平泉の世界遺産登録に沸いている盛岡では震災の被害は全く見られず、岩手県と同業の方々も大船渡の方が唯一被災されたとのことでしたが、その方の『震災後はどうしたらよいか分からなかったが、一週間後には再起へ向けて動き出した』との力強いお話にこちらが逆にこのままじゃいかんなどという気にさせられました。

時間もあまりありませんでしたが、せっかく公務で東北に来ることが出来たので、被災地を経由して帰ることになりました。関東地方の青年部が共同でボランティアに参加する計画があり、その事前の調査も含めての被災地視察であります。盛岡から仙台に移動し、仙台から

レンタカーで石巻へ。仙台中心部も震災の大きな影響はそれほど見られませんでした。道中とところどころ道路の補修の跡があり、時折ガタンと大きく揺れます。高速を降りてもまだ平和な田園風景。国道四五号まで下りてくると流された船や折れた電柱、休業中の店舗など震災の爪痕が。この先沿岸部に近づいていくにしたがって、『あぁ・・・』の声すら出なくなり、まさに絶句。写真で見た東京大空襲後の東京の焼け野原ってこんな感じかと思うような絶望的な風景が広がっていました。それでも2か月前に比べ、道路際のがれきりかなり片付いたそうです。大きな被害を受けた日本製紙(株)石巻工場を横目で見ながら女川方面に移動。



1階部分が完全にがれきりで埋まった店舗



ほとんどの家が基礎以外全壊。残った家も住める状況にない

そして、女川町内へ。海を抱え込むように半島が伸びた女川湾の奥が女川港、港をあがると駅や役場のある中心地。さえぎるものがなくそのままの勢いで津波が建物の三階部分を超えて押し寄せた痕跡。港に沿った道路も完全に冠水。



冠水した海沿いの道路



三階建ての屋根も津波の被害を受けている。

◇各市のリサイクルフェアに参加してきました。
五、六月にかけて、清瀬、西東京、東大和、東久留米の各市で環境イベントが開催され、当社も東多摩再資協のブースで参加してまいりました。时期的に雨に降られたり、炎天下だったり天候には泣かされることも多かったものの、多くの市民の皆様にお越し頂きました。ブースでは、集団回収の推進、持ち去り問題に対する市民の認知度向上と問題提起、アイロンプリント紙等の製品に重大な悪影響を及ぼす禁忌品の周知を景品の出る簡単なクイズでPRしました。では突然ですが、読者の皆様にも問題です！（答えは次号に・・・）



スタッフもおり、盛況でした

問題① 紙マークが付いているのにリサイクルに適さない紙がある。○か×か？

問題② 磁石に付くのはバリとち

A. アルミ缶

B. スチール缶

集団回収の締め目です！

七月 東村山市
所沢市
八月 小平市